

健やかな子供の成長のため、 メディアとの付き合い方を考えましょう

学校医の中島先生、学校歯科医の鈴木先生とお話すると、子供の成長に関する今一番の心配は、メディア依存、ゲーム依存、ゲーム脳など、メディアの正しい使い方ができないことによる子供への悪影響であるということです。

先生方は、「ネットやゲームなどによる夜更かしから、生活リズムの乱れ、体内時計の乱れとなり、朝起きられない、学校を休む、やがて不登校へ、という事例が多い。『ゲーム脳』や『メディア依存』という言葉があり医療の現場で問題となっている。コントロールできるのは、家庭である。小学校低学年の段階から、『時間を決める。親のいるところである。子どもの部屋に持ち込まない。』などのゲームやネットをするときの約束をしっかりと身に付けてさせることが大切だ。」とおっしゃっていました。

日本小児科医会のポスターです。メディアを正しく使ってほしいと5つの提言をしています。

スマホなどのメディアは、正しく使えば大変に有効なものです。ルールを決め、正しい使い方ができるように子供達を育てていきたいと思ひます

日本小児科医会HPには、次のような提言がなされています。PTA総会後のメディア講演会でもお話があったように、家庭内での約束をぜひ話合っ、正しい使い方ができるようにお願いいたします。

「子どもとメディア」の問題に対する提言

わが国でテレビ放送が開始されてから50年が経過しました。メディアの各種機器とシステムは、急速な勢いで発達し普及しています。今や国民の6割がパソコンや携帯電話を使い、わが国も本格的なネット社会に突入しました。今後、デジタル技術の進歩はこのネット社会をますます複雑化し、人類はこれの中で生活を営む時代に進みつつあります。これからメディアは発達し多様化して、メディアとの長時間に及ぶ接触は、いまだかつて人類が経験したことのないものとなり、心身の発達過程にある子どもへの影響が懸念されています。

日本小児科医会の「子どもとメディア」対策委員会では、子どもに関係するすべての人々に、現代の子どもとメディアの問題を提起します。



＜日本小児科医会からの5つの提言＞

- 1 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
- 2 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
- 3 すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- 4 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- 5 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

5月12日(木) 4年生遠足 県庁・ひたち海浜公園

今年度の遠足のスタートに、4年生が茨城県庁とひたち海浜公園へ遠足に行ってきました。前日までの雨と風で大気中のほこりが洗い流されてしまったような、すばらしい天候でした。



県庁では、係の方に県庁の役割についてお話をしてもらい、25階の展望台で水戸市の様子を見渡しました。すばらしく澄み渡り、神栖市の工業地帯の煙突、遠く牛久の大仏様、富士山のシルエットも望むことができました。

県庁では、分かったことをメモをしながら、しっかりと見学できました。



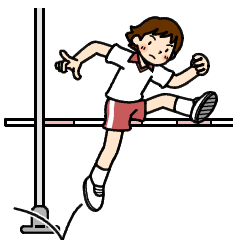
海浜公園では、グループで行動し、楽しく遊んだり買い物をしたりしました。協力して行動し、友達同士で声を掛け合い、時間を守って行動する姿は大変立派でした。

陸上記録会の練習をがんばっています。

神栖市教育会陸上記録会が、5月19日(木)に若松運動場で開催されます。大会には6年生が参加し、5年生も来年的のため、先週は練習に参加しました。当日まであと少し、頑張ったという充実感、記録を伸ばせたという達成感を味わわせることは、子供の成長に非常に大切なことです。「頑張れ」の声かけをよろしくお願いいたします。

なお、6年生は19日、20日(予備日)の2日間、お弁当持参となります。ご協力をお願いします。

100m、80mハードル、1000m、走り幅跳び、走り高跳び、ボールスロー、400mリレーの各種目に6年生全員が参加します。



マラソントイムが始まりました。

運動に親しむ習慣を育てるとともに、体力の向上を図ることを目的に、年間を通して、火曜日と木曜日に業間運動を行います。5月から5分間のマラソントイムが始まりました。クラス毎に準備運動をして、音楽に合わせて5分間走ります。みんな元気に走っています。

